

魔理沙の中身

FREEZE
WORLD



幻想郷
里の夏祭り

あっはっは
阿求ったら
呑ませ
まくるん
だもん

あっはっは

そういえば
べろんべろんの
魔理沙はー？


さっき
そこで
寝てたけど

夜も更けてきて
祭りも終わりだから
帰ったんじゃないの

霊夢・アナタも
里の若者のしきたり
知らないんですね


魔理沙なら今しがた
今夜の相手が寝宿へ
連れて行き
ましたよ

年頃の若い男女に
とってはこれからが
本番ですから




この祭りは
一定の年齢に達した
童貞達に経験させる
日でもあるんですよ

長老に娘組の頭
若者組の頭が
話し合って今夜
誰が誰と性交するか
すでに
取り決めてます



里ではそうやって
男女の事はわりと
しっかり管理
してるんですよ

頭達が男女の仲を
考慮した上で割り当て
晴れて合法的に男が
女を抱ける仕組みです
あんまり
当人達の意志は
尊重されませんね



きやはは
もうのめなーい

しかし
家出した魔理沙が
里のしきたりに
従う義務ないじゃん

ちゃんと魔理沙の
同意とってんのか？

確かに魔理沙は
家を勘当され
今は里を出て気ままに
独り暮らし

ですが里には
今も彼女を見捨てず
里の一員と考えてる
大人がけっこう
いるんです

親切なのか
余計な
お世話なのか

だから今夜
里の娘として
当然のごとく
男の性交対象に
選ばれたんです
もうそういう
年齢ですからね

強姦まがいでも
男を機に更生
してくれれば
なあと
娘組の頭が
言っていました

なんか荒い
やつらだな

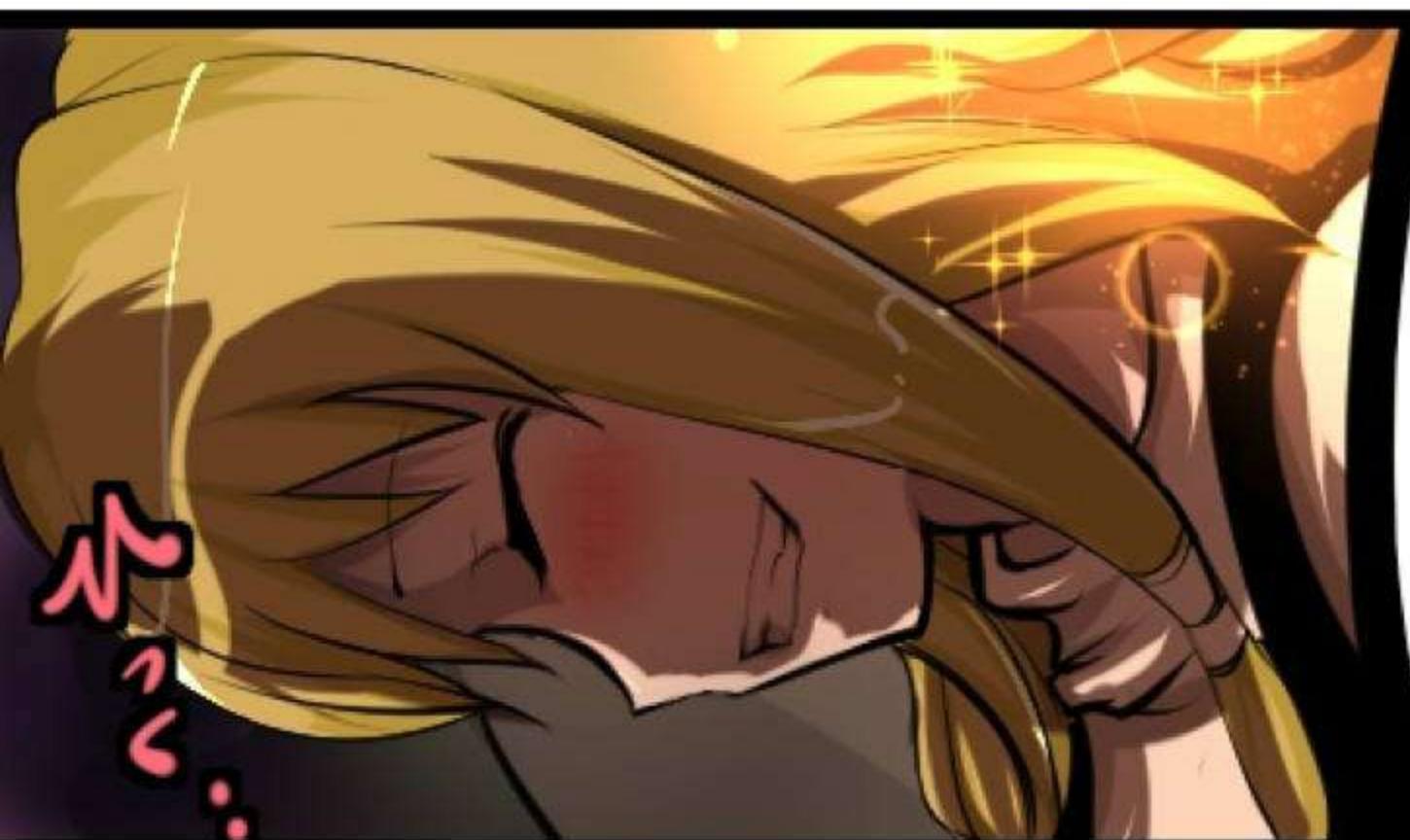
それで
相手は？

げんだきょうすけ
幻田郷助

農家のせがれで
魔理沙の幼馴染



魔理沙は可愛いですからね
かなりの数の男が抱かせて
くれと長老に頼み込んだ
らしいですが
関係が薄い者はダメ
早くに里を出た彼女と
接点がある者は
あまりいなくて・・・



その幼馴染だけは
幼少時に少し
遊んだことがあり
今でも会ったら
笑顔で挨拶ぐらいは
されるそうで彼に
決まったそうです



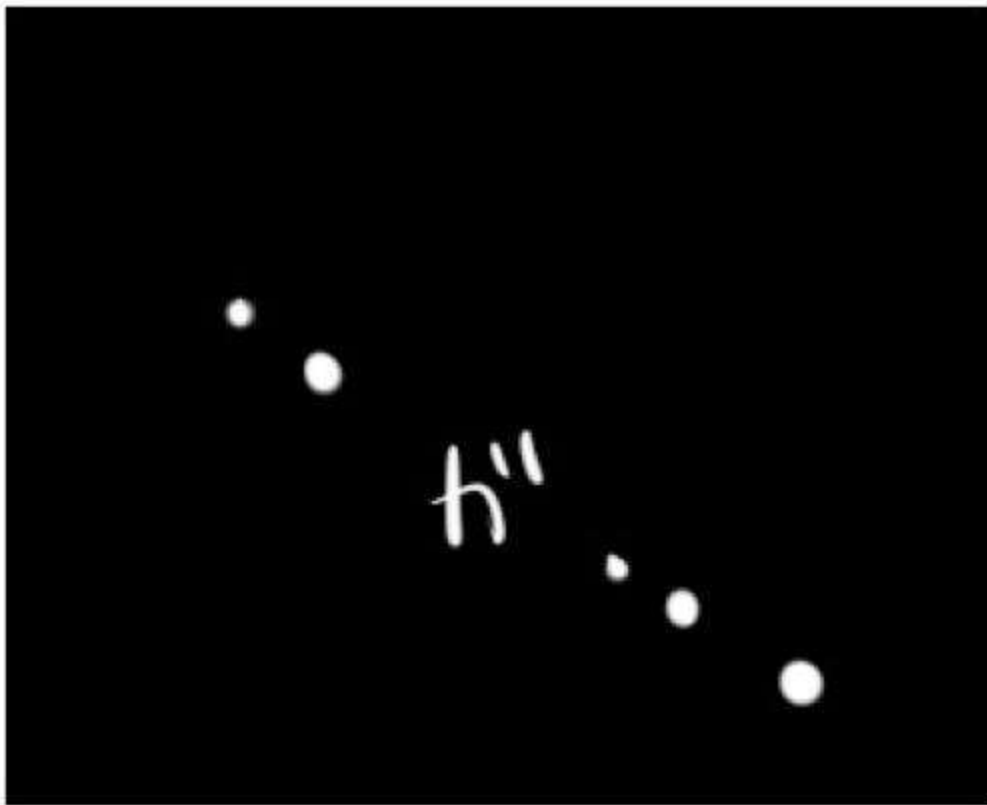
魔理沙の事
好きなのかね

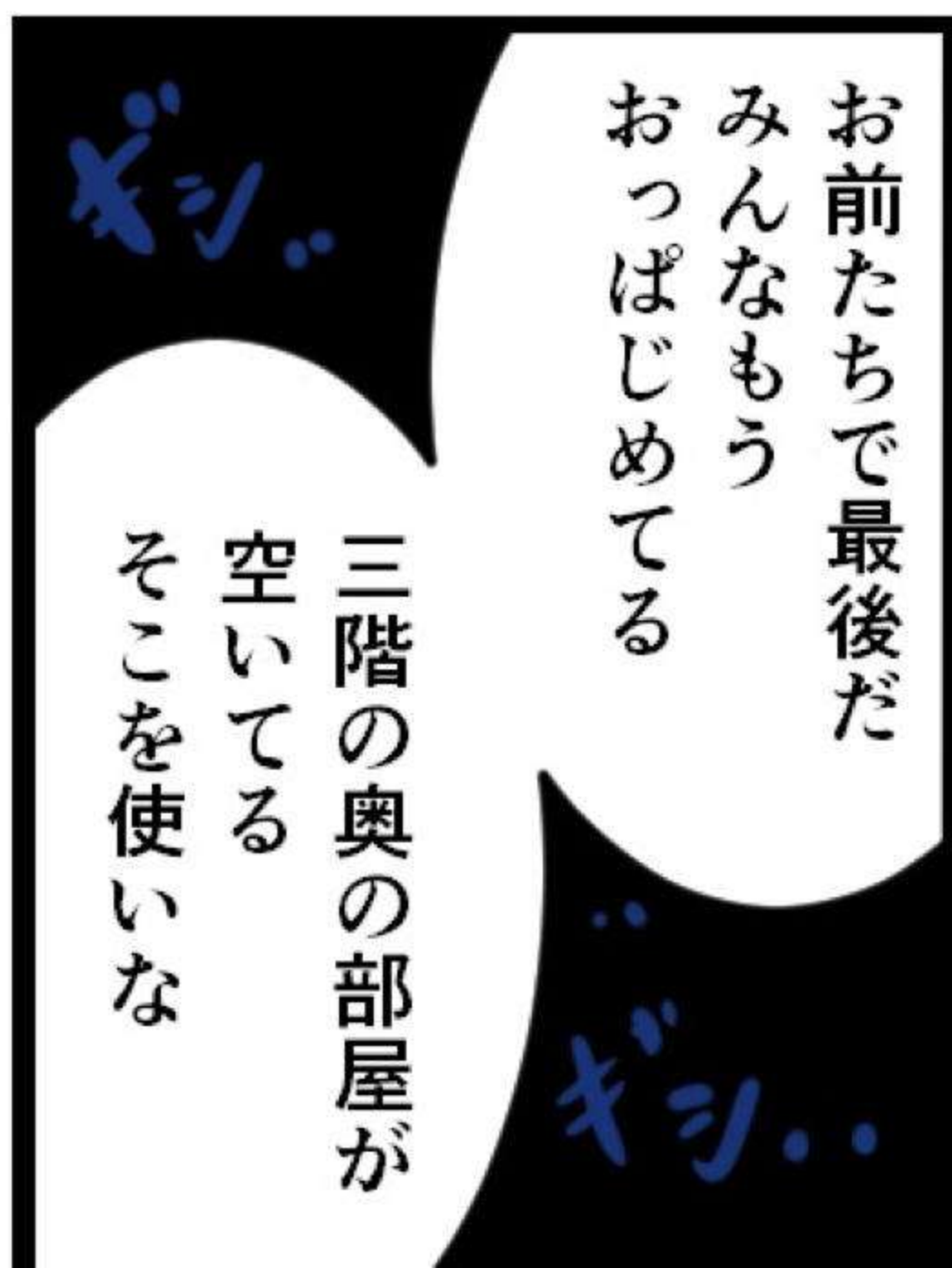



働き者の少年ですよ
肉体は精悍ですが
畑仕事ばかり素朴で
無趣味のつまらない

彼も志願した
一人だそうです

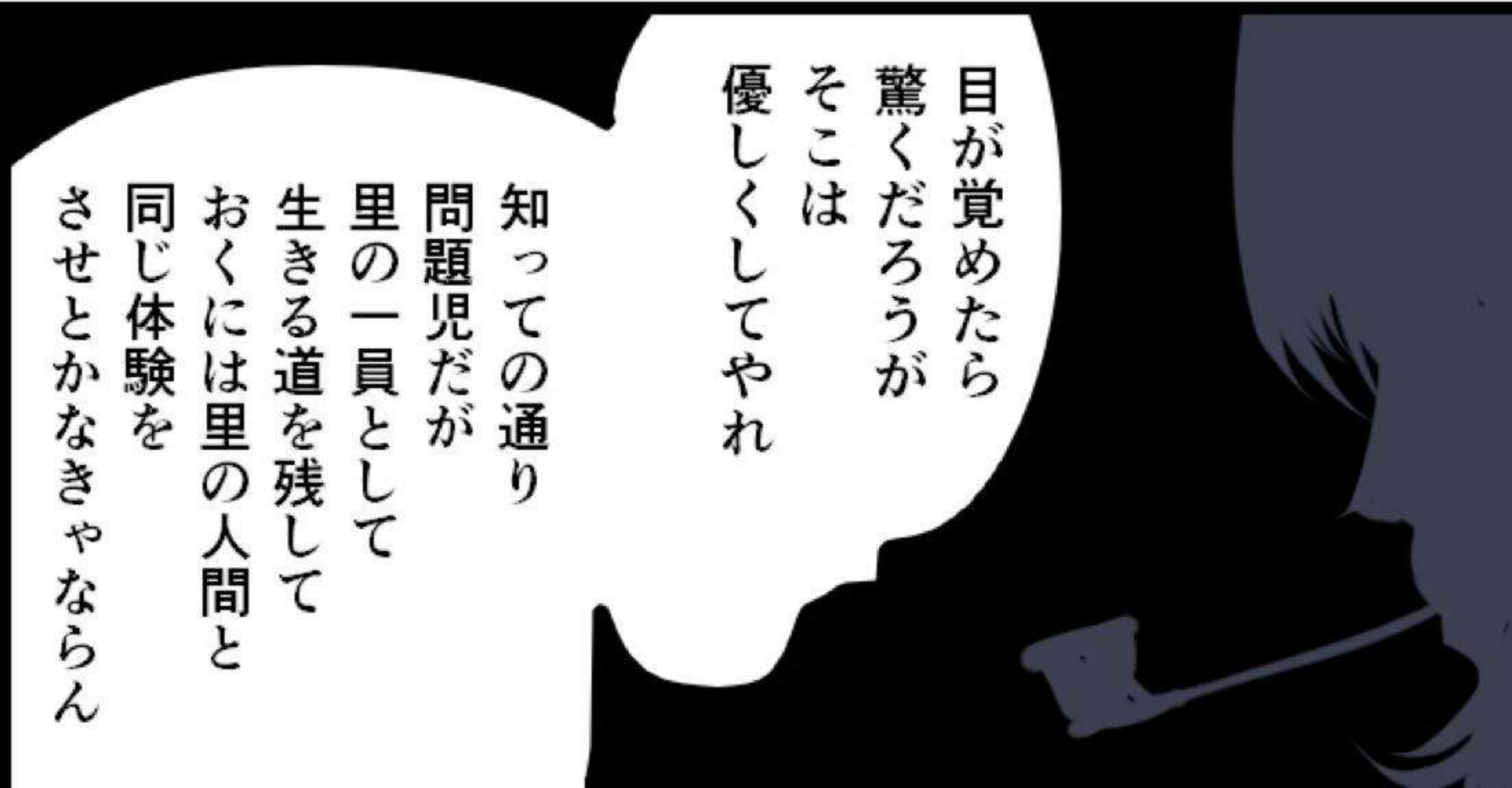
アンタ里に
頼まれて
泥酔させたんだな








言っても聞かないだろうから
酒に酔わせてしきたりを
守らせるといふ強引な手を
使ってしまった



目が覚めたら
驚くだろうが
そこは
優しくしてやれ

知っての通り
問題児だが
里の一員として
生きる道を残して
おくには里の人間と
同じ体験を
させとかなきゃならん



今夜一晩その娘を
愛してやる覚悟が
本当にあるのなら
そこの階段をのぼれ

ないなら
帰って
かまわん



その時は
他の男に
抱かせる



アン……

あ……



ドッ

ドッ

ドッ

……

そこ...
だめえ...

こりあ...

あ!

痛いって...
もっと優しく...

ちや:

ちよつと
みないでよ...

あ
あ
あ

亜里沙の事
ずっと好きだった
んだ

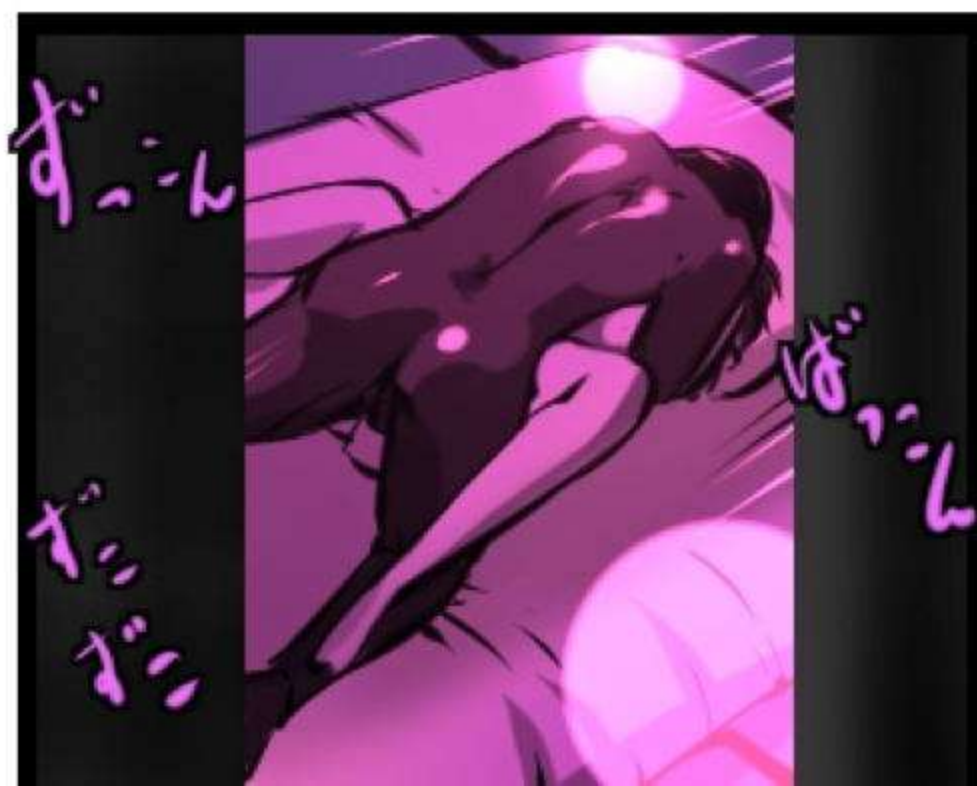
ゴッソ...

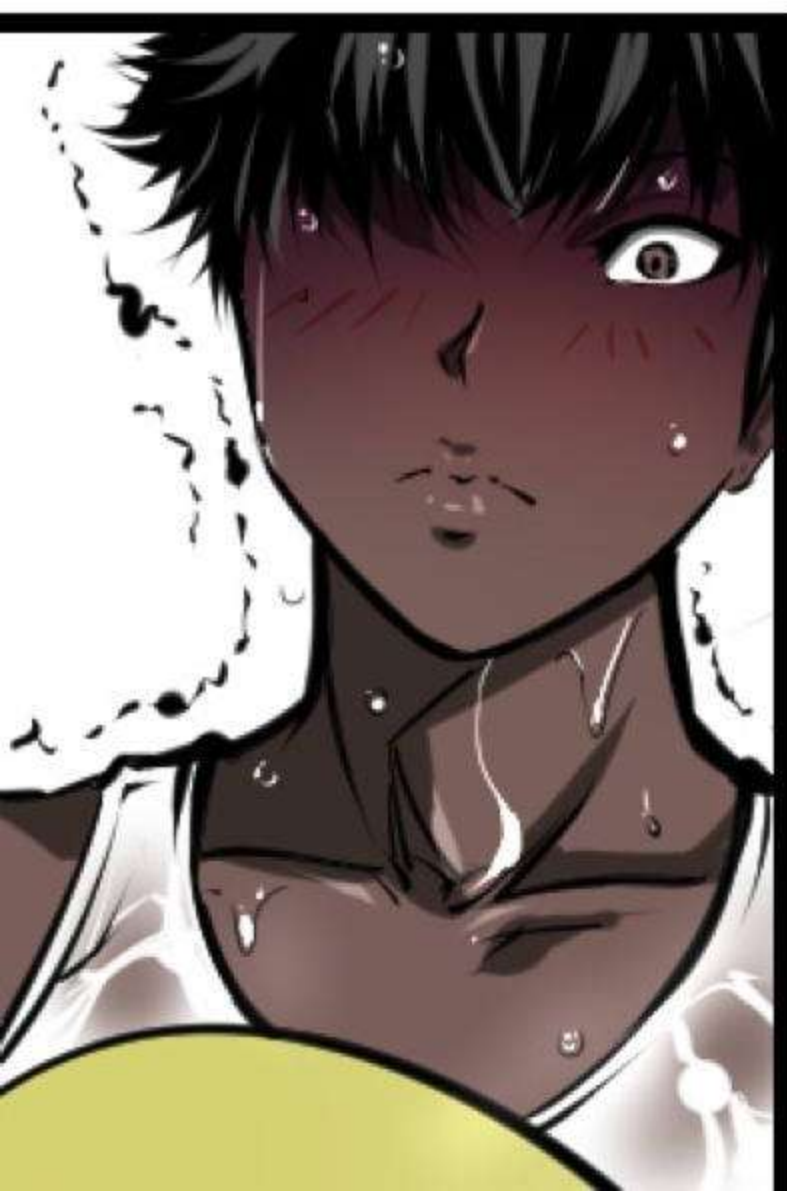
バックでいれるぞ
...ああ...

ドッキッ!

ドッキッ!
ドッキッ!

いいよな
ナカに
だして





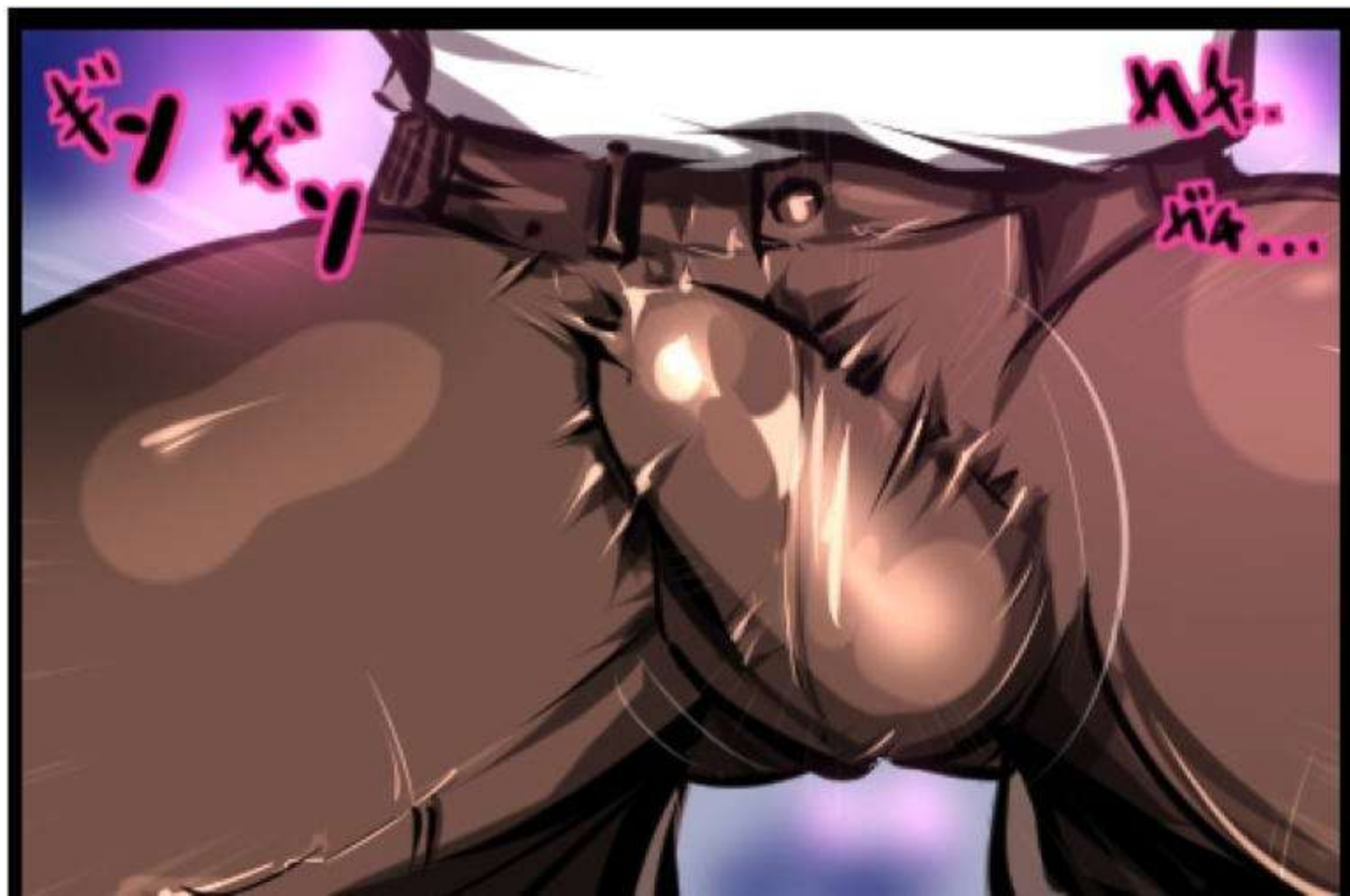
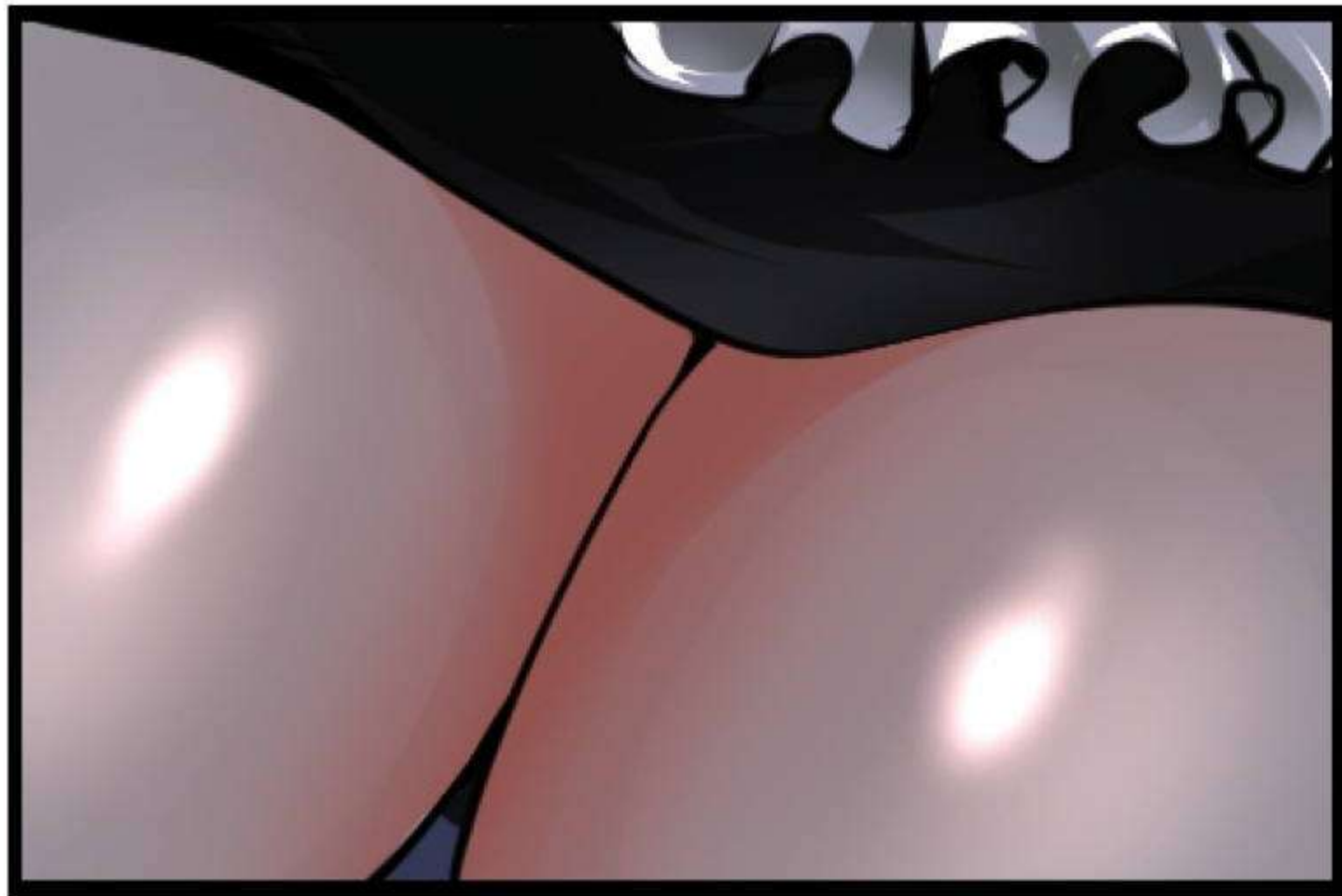
うん...

しゅ...

わん...

とちん!





びびっっちゃダメよ
悪魔になつたつもりで
やりたいことを
そのまましちゃう事
遠慮しない！

その方が
自分の気持ち伝わるし
どうせ女を喜ばせる
技術もないんだから



魔理沙の
胸に触ってみたいとか
頬にキスしてみたいとか
思つた事……
あるんでしょ？

じゃあもうその
迷つた情けない
顔はやめなさい
魔理沙を不安に
させたいの？



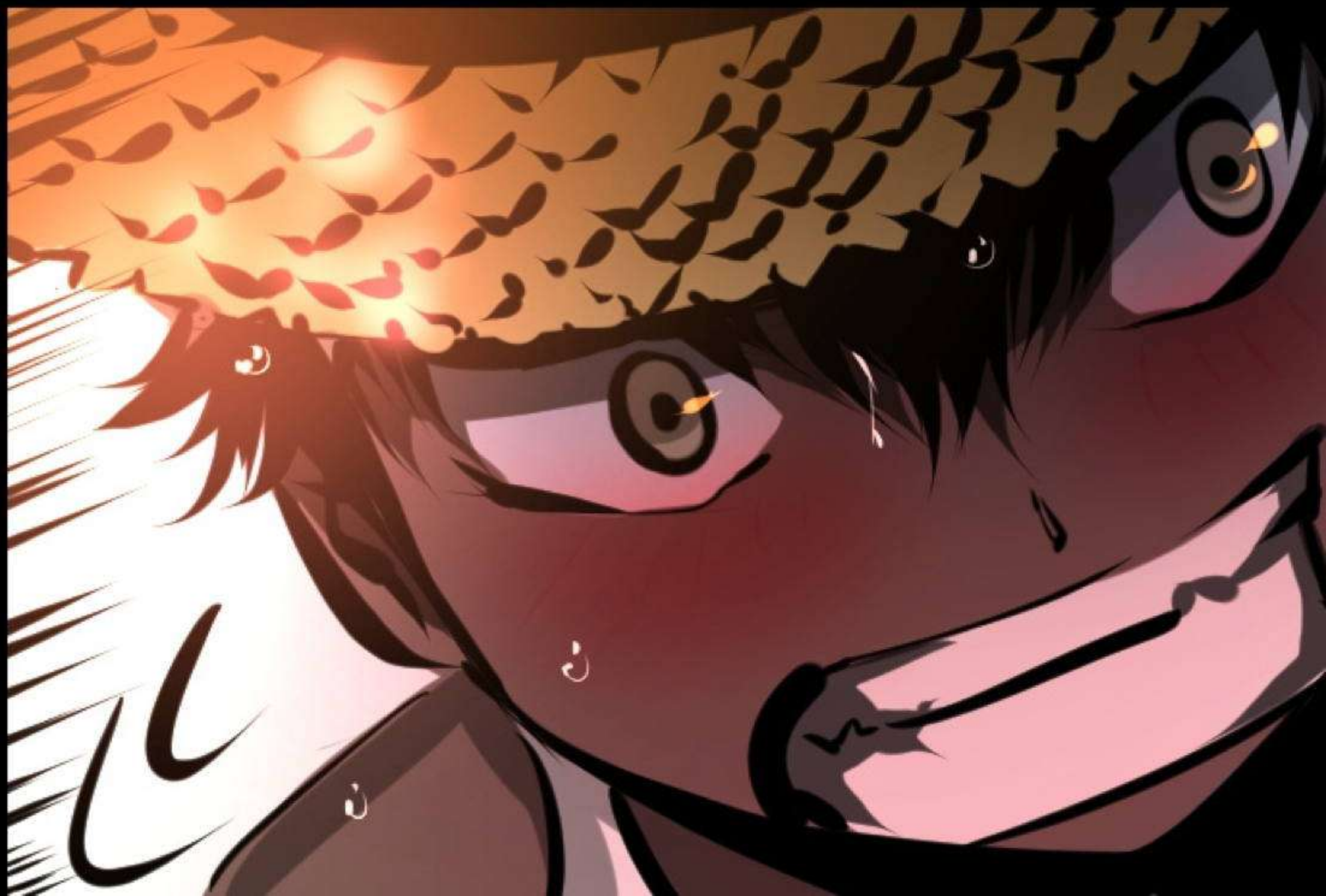


手伝おうか？

がんばってるな

ふん

ふん..





少し休めよ



あつたかいお茶
いれてきたんだ



おまえってさ

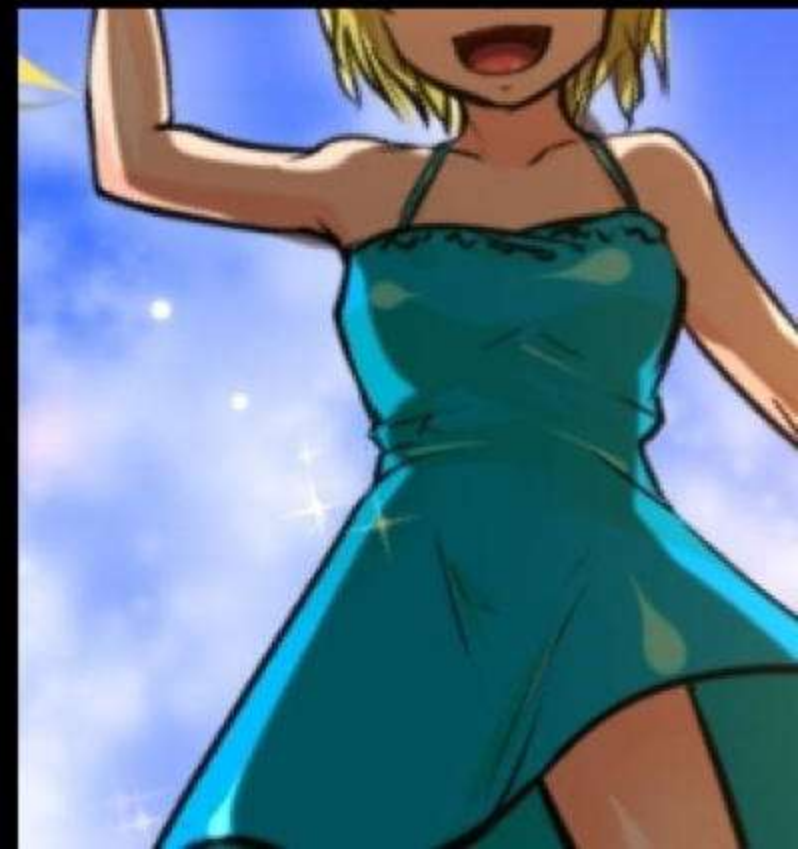


何が楽しくて
生きてるんだ？

働き者なのは
いいんだけど



楽しい事
みつけろよ



じやなきや
生きてても
つまんないじや
ねえか





あつたかい...

いんあり...



ずっ...

っっ...



ずっ...

すべすべ
してる...

いらあ...
...囁...



頭がおかしく

ん...

ん

霊...夢?

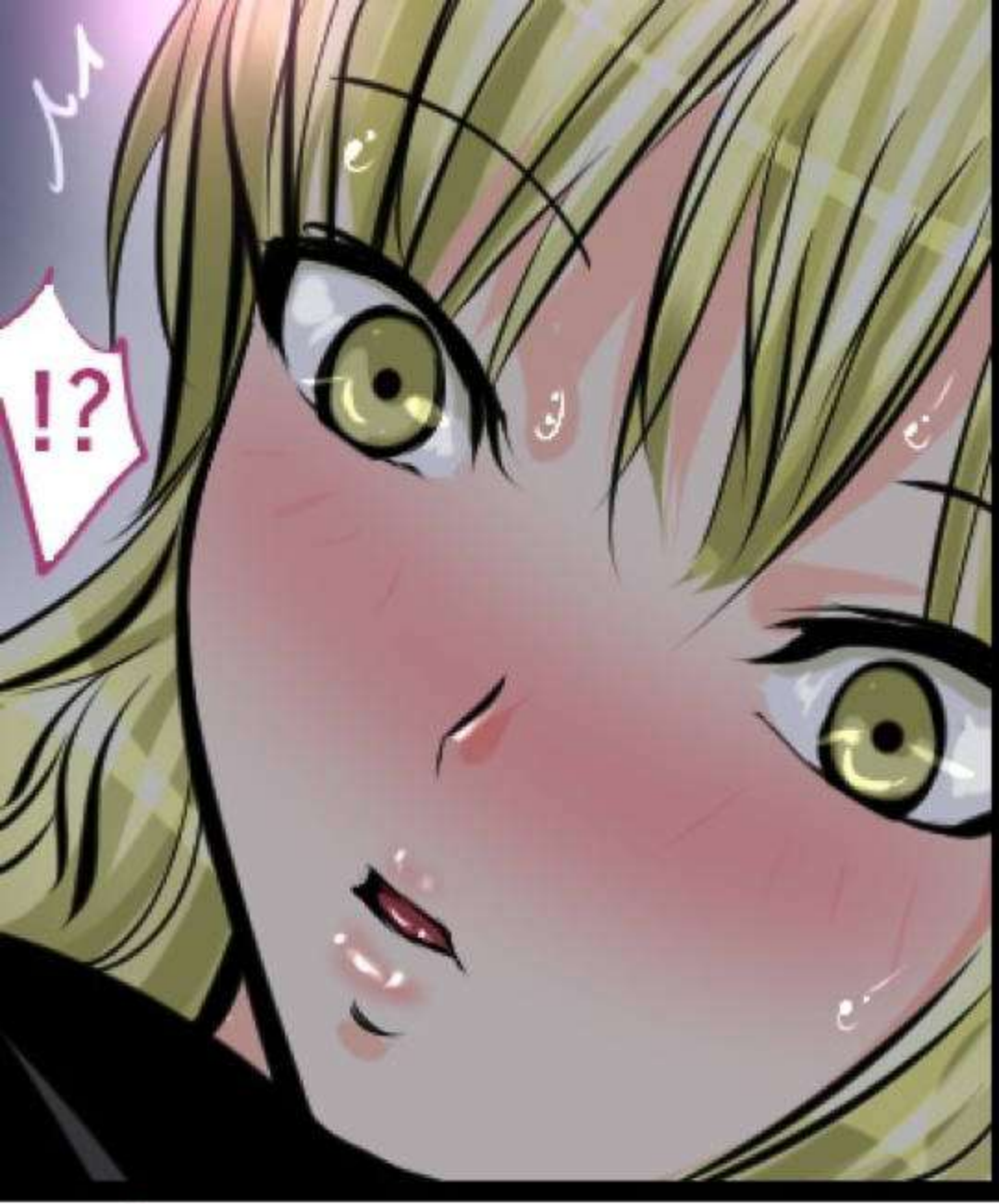
こ...
こんな
やわらかいんだ

なんでこんなに
いい匂いが
するんだろう

ん...

ん...



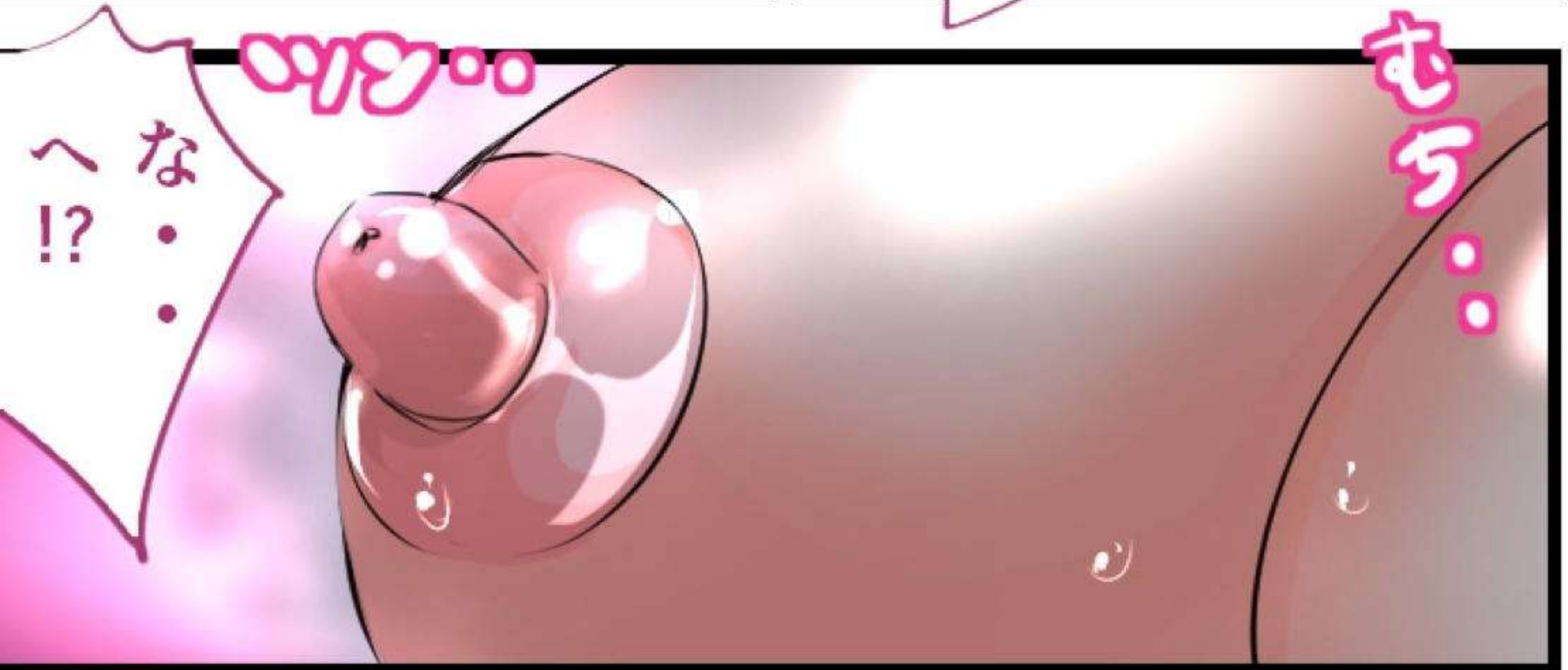


!?



おまえ何して...!?

何?ここは...



な...へ!?

むち...



はなれるって!バカ!!

キキキ!



ウソ

みるなよ!まさか私ねむって...

あんず!

あづ

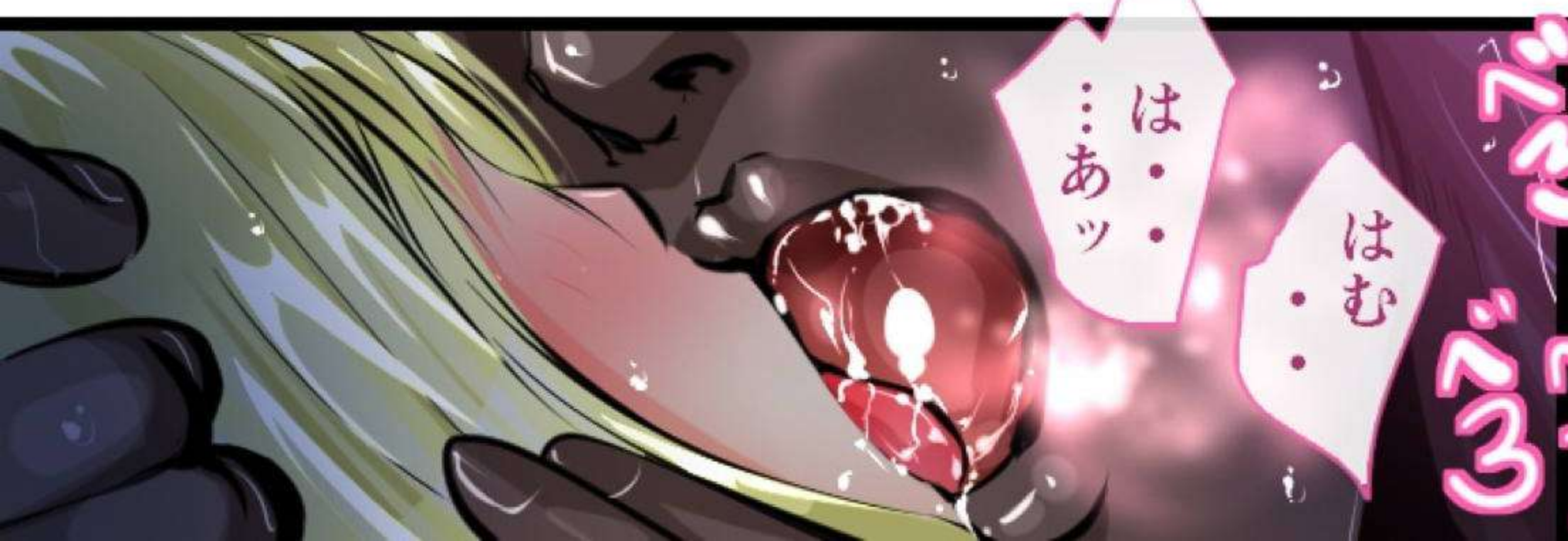
あ
あ

あ
あ

あ

あ
あ







んんっ
っ……!ッ

し……舌が……
息……
息できない……!

んっ
んっ

んっ
んっ

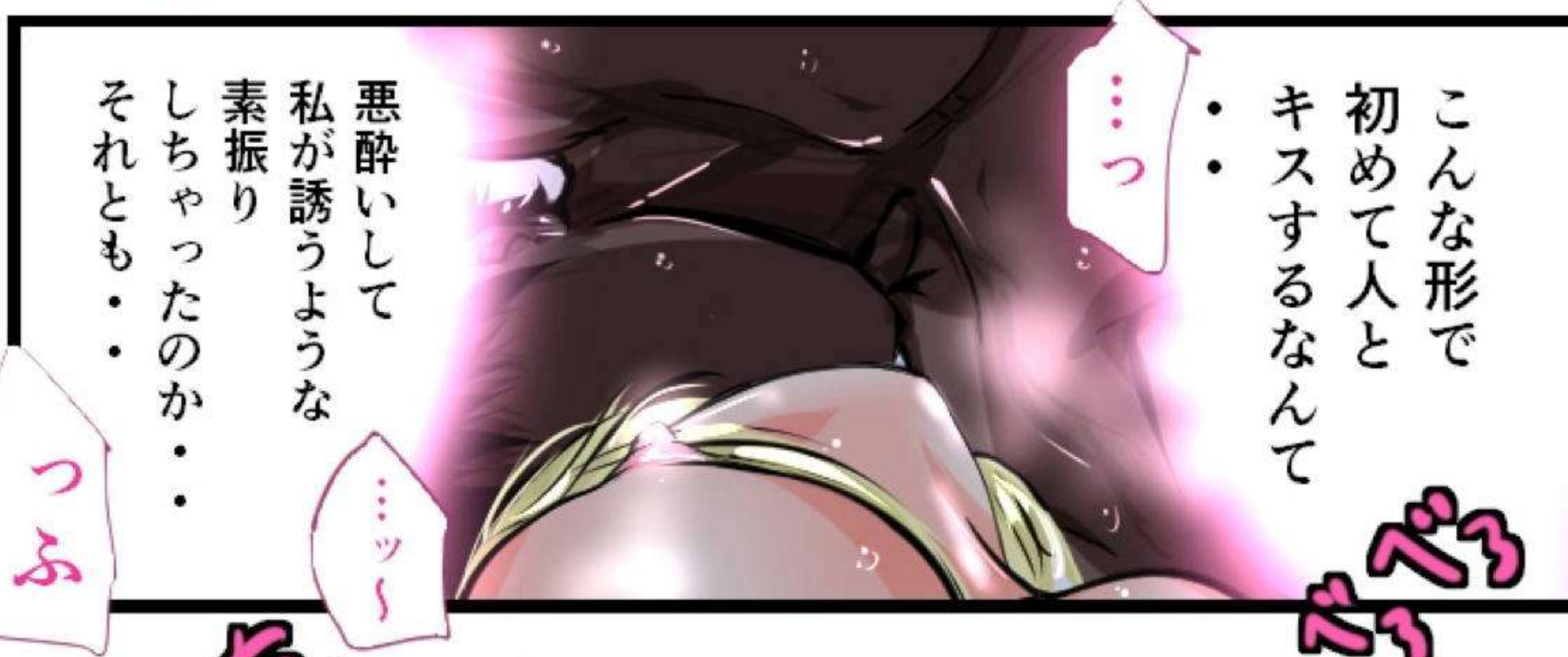
んっ
んっ

こいつ私を
観念
させようと……

ん……

ん……

ん……



こんな形で
初めて人と
キスするなんて
……

……

んっ
んっ

……

悪酔いして
私が誘うような
素振り
しちゃったのか……
それとも……

っふ



ん!

んっ
んっ

んっ
んっ

ん……!

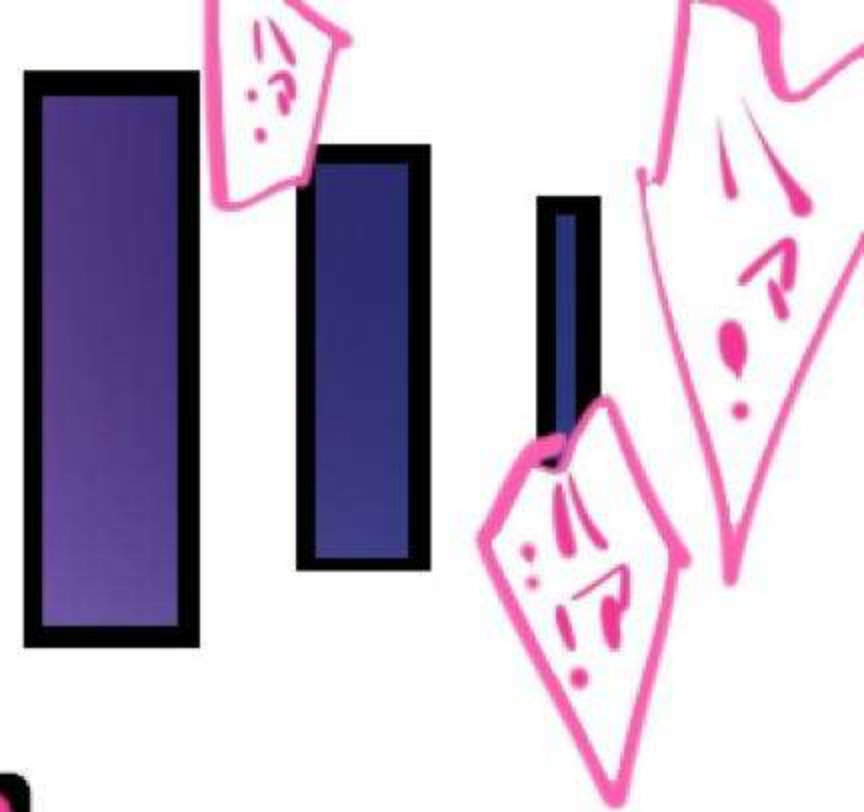


んっ
んっ

ふは!

っは!

んっ
んっ



やっと
おとなしく
なった



バ・バカ!
それはおまえが
変な事するから!
やっ!こら!



な!
私が酔って
何かおまえに
意地悪したのなら
あやまるから

もう変な事
するな!
どこなんだこ

あつ





中指の腹で閉じた
スリットをおすと、
とろりと愛蜜が溢れて
男の指を濡らす。

郷助はこれが
ぷにぷにと柔らかい
魔理沙の華奢な性器を
守る液体だと理解すると、
彼女の涙声も聞かず
弄って溢れさせ続けた。

じゅわん

じゅわんじゅわん

自分の男根の
サイズを考え
本能的にとった
行動なのかも
しれない

性欲か
独占欲かは
もはやわからず
郷助はズボンを
おろし、ついに
恐ろしいほど
スケベな
ペニスを解放した。

くちゅくちゅ

ちゅっちゅっ

はっきり
わかってるのは
子供の頃から
この可憐な少女に
恋し続けてきたこと

何度もメチャクチャに
したいと思った
あの少女の
自由を奪い
現実にもうできる
状況にあること



アア

はっ...

どろろ

何する気なんだ

!?
なに?

はっ

なんとか言えよ
おい！はなせ

ぐわ

びんびん





...びび

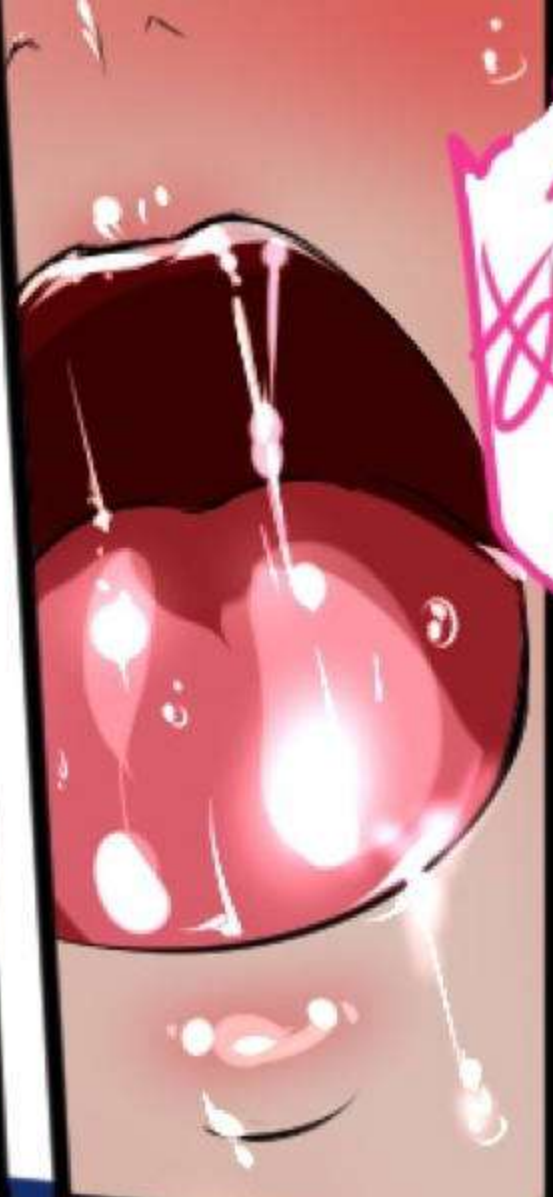
おっ



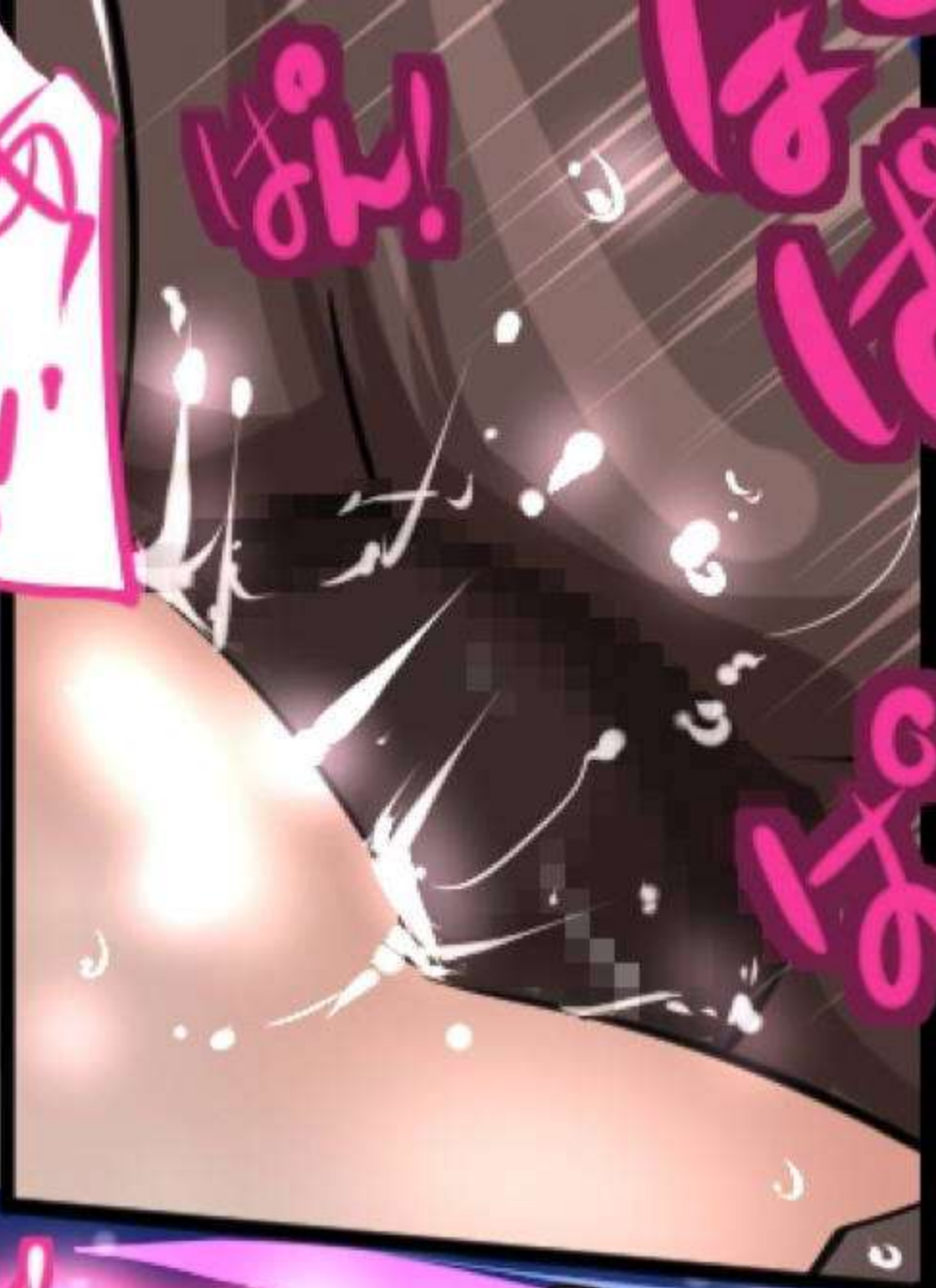
い
ゃ
!!



ほかほか



あー!



あー!

あー! あー! あー!



あー! あー! あー!



ほん!

ほん!

ほん!
ほん!

ほん!



ほあ! ほあ!

突くなあ



ぬいて



うごら
ちや...!!



壊れちゃうよ
郷助!



え!?



あ
あ
あ
あ
あ

んん!

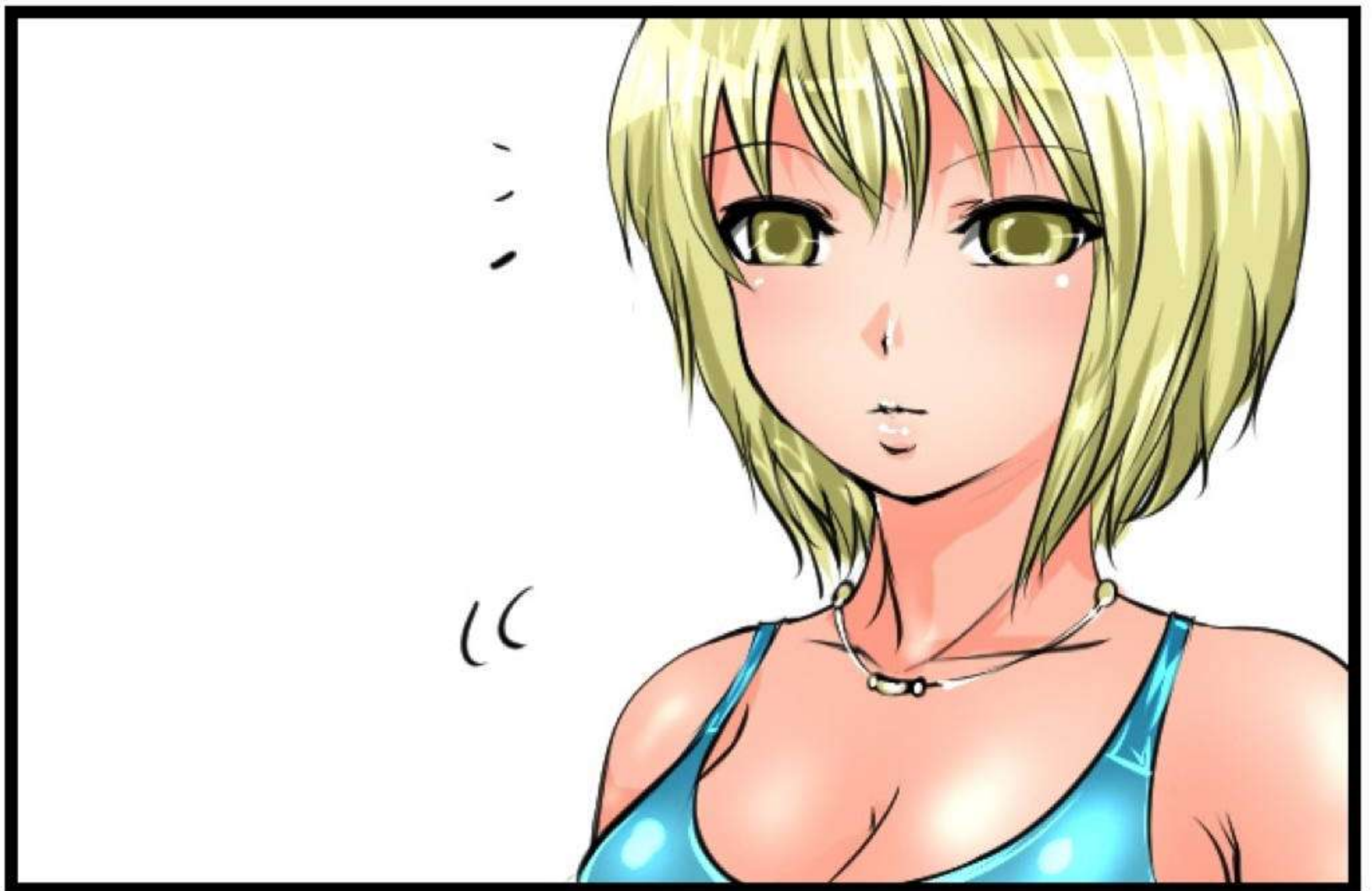
んんん
んんん

んんん
んんん

んんん!

んんん
んんん

んんん



ひさしぶりね
夏祭り以来か

今から

お昼なんだけど
一緒に食べる？

わ・・わるい
ちよつと用事が
あるんだ

わるいな
また今度



ムム:

あれお弁当箱
よね？

魔理沙ったら
なんか
怪しいわね

髪切ってるし
おめかししてるし
そわそわしてるって
いうかさ

祭り以来頻繁に
里に来てますよ

里っていうか
農家の方へ

へえ…確かにありや
ねじこまれて
たっぷり濃厚なの
注がれた娘の顔だな

可愛く
なっっちゃって

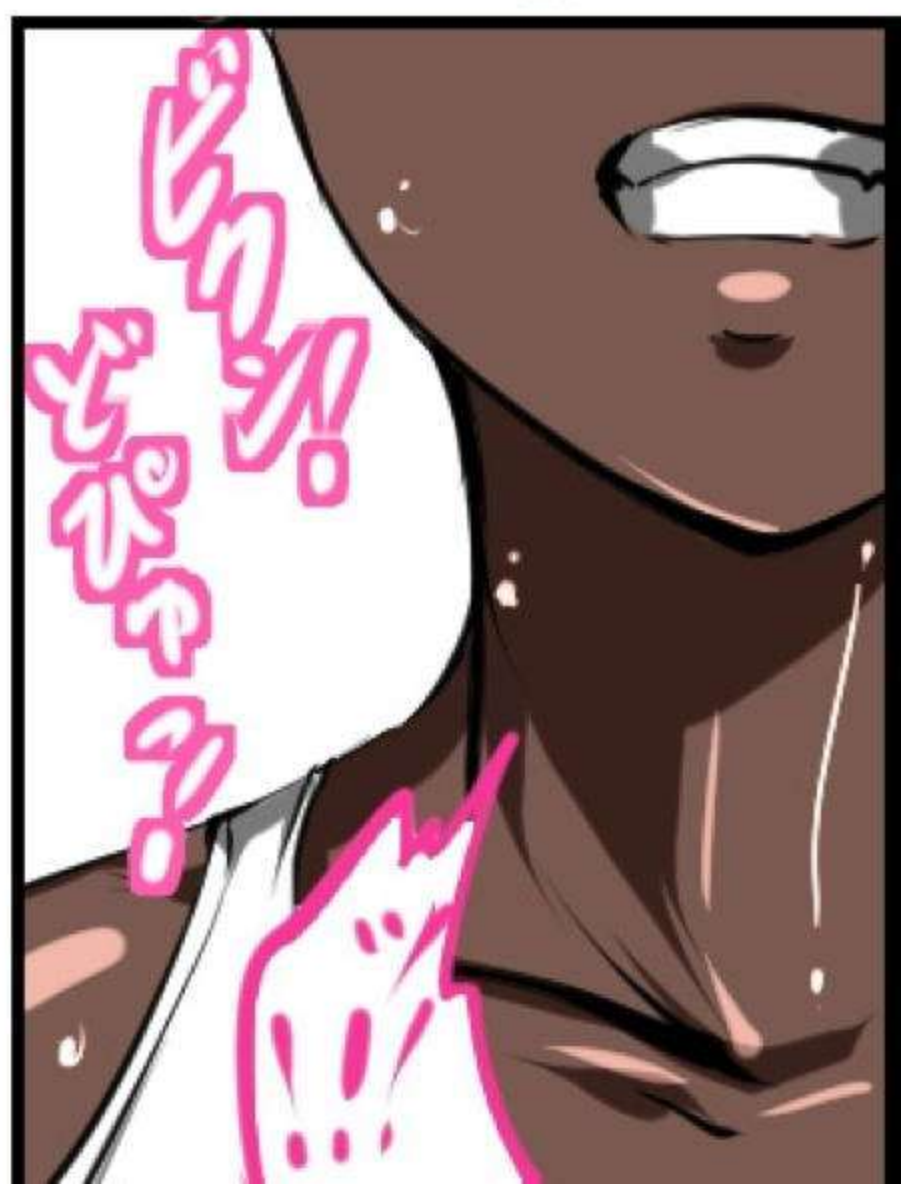


なに？
魔理沙なにか
あったの？

楽しい事
ですよ

ふふ…霊夢も来年ぐらい
わかるんじゃないの？







こんな
カッコ
させて

ぱん!

ずり!

ずり!

はっ!

わかつたから

犯すなよバカ

はあ



ぱん!

ぬ

だしすぎ...

ぞろぞろ

お前の気持ち
わかってるから
落ち着けて



ずっと私の事
犯したかったん
だって・・・!

他の男に
やりたくないって
わかったから!!

あー!

あー!

あー!

あー!

あー!
あー!
あー!
あー!



好き…
すきー!

ほあ!

あーっ♡

ほあ!

ほあ!

ほあ…



はあ...

はあ...

はあ...

ぴん

ぽん

はあ...

たっとう

♡

ぽんぽん

農家の少年

幻田郷助



広大な農地を持つ幻田家の跡取り。
といっても両親は幼くして他界し、
昔からたった一人で、土地全てを耕して生活している。
日々のそれで培われた無尽蔵な体力と鋼の肉体は
まさに大地の男で、すでに幻想郷の大人達にも
全く負けない。

とてつもない耕作量と労働時間で、真面目な働き者と
周知されているが、反面、寡黙で面白みに欠け
遊びさえしないのでつまらない男と評価されている。

(変人として見られることもしばしば)

実際のところ、彼は同年代の子供が
野を駆けまわっていた頃から、
仕事をこなさねばならなかったため、自然とそれに没頭し
友達と付き合う暇もなかった。

早くに大人の仲間入りをした彼につきまとう
つまらない男という評価。

確かに仕事一色の淡々とした少年期だったが、
そんな彼にもたった一つときめくものがあった。



時々、農地を通りすぎる可憐な少女、霧雨魔理沙。里では問題児と有名で、家でも問題を抱えてるという話だったが、少女はすでに遊びにも誘われなくなっていた郷助のもとにやってきては、屈託のない笑顔で、耕作の真似事をしたりお菓子を置いていったりして去っていった。彼にとっては唐突にやってくる彼女との短い時間が少年としての唯一のあそびの時間だったのかもしれない。しかし、それだけではなかった。郷助は幼いころから生活だけでなく肉体的にも早熟で、魔理沙がやってくるたびに、目の覚めるようなときめきだけではない、何か得体の知れないどす黒い欲望を下半身に感じていたのだ。それは彼女のすらっとした脚や、無防備なうなじ、胸元などを見る時に、明らかにあった。後ろから抱きつこうとして自制したことも確かにあった。時がたち魔理沙が家を出たという話も聞いたが、彼女が郷助の農地に立ち寄る習慣がなくなる事はなかった。

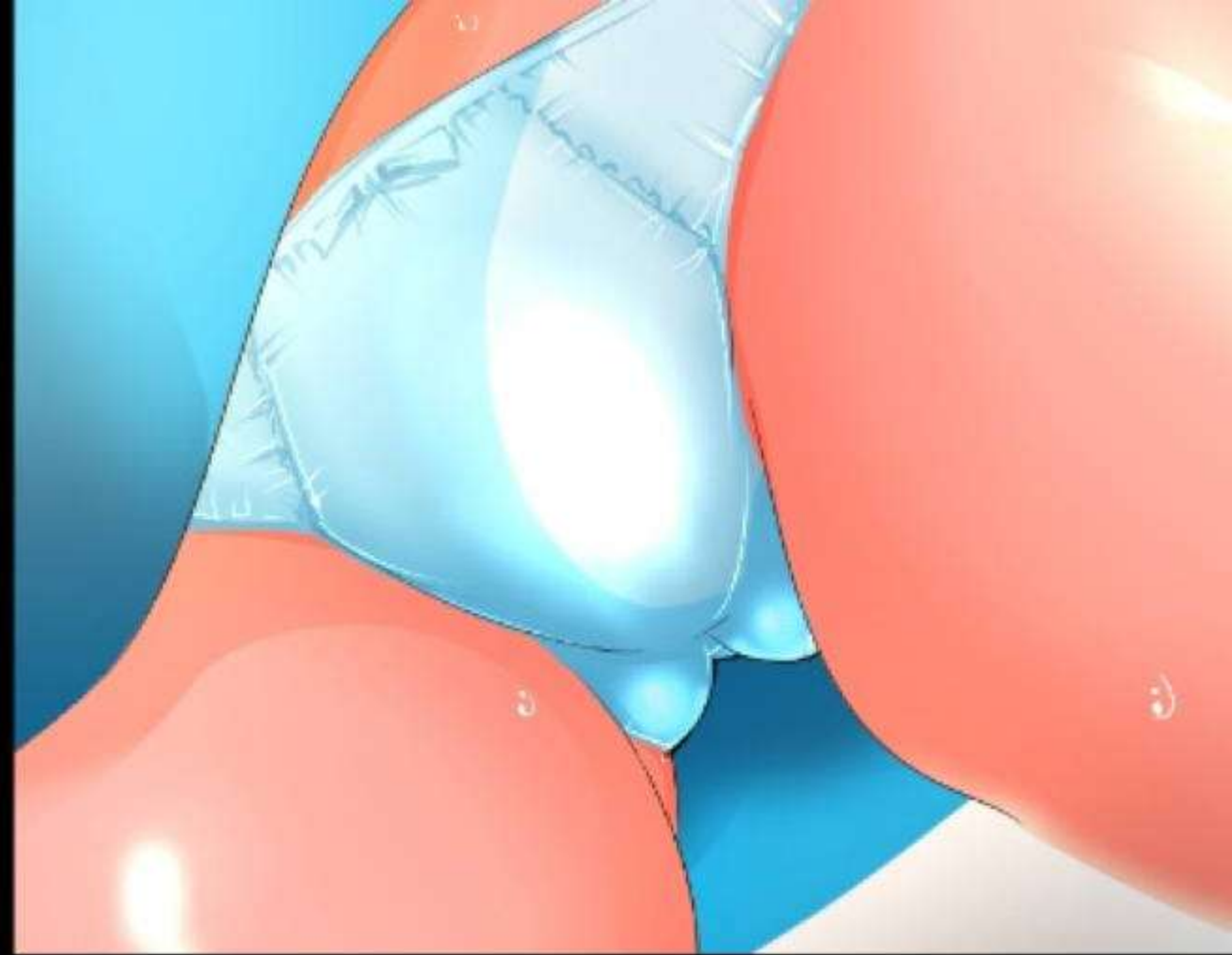


また少し時が経ち、郷助が里でも頼りがいのある若者の一人となり、同年代の男達と里のしきたりを教わる頃、魔理沙はまたぐっと魅力を増して、彼の目の前に現れるようになった。

いつも笑顔の魔理沙とは対照的に、郷助は魔理沙が現れるたび、茂みに押し倒し、その白い肢体を口にすることを隠しきれなくなってきた。

それは何も旺盛な若者の性欲からくる衝動だけではない。彼女の美貌は里の男の間でも評判で、はっきり狙っていると口にすることがすでに無数に出てきていたからだ。普段寡黙な郷助も、魔理沙が他の男にとられるなど死んでも我慢ならなかった。

ある年。夏祭りが近づき、郷助の年代の男達は皆、集会所に呼ばれ、隠された里の性の教えを教えられる。知ってた者も、なんとなく知っていた者も、ついに来たかと一斉に息をのむ。心臓を落ち着かせる間も与えられず、どの娘を抱くか、淡々と決定されていく。あまり少年達の意見は聞き入れられなかった。



美しい娘をあてがわれ、ケダモノのように歓喜する者。
まったく好きでもない娘をあてがわれ絶望する者。
そもそも女が好きでないのか終始ため息の者。
次々と決まり、郷助の名はまだ呼ばれない中、
里を出た、あげられるはずのない娘の名があげられた。
霧雨魔理沙。突然長老が、この娘と親密だったものは
いないかと問うと、選定に不満をおぼえていた者たちが
一斉に手をあげた。
郷助の頭に浮かんでいたのはいつか風の悪戯がみせて
くれた少女の下着姿。男にはない柔らかそうな少女の…。
あそこに突き立てる者は一体誰なのか…。
郷助は座っていた体を起こすと、仕事にしか使わない
馬鹿力を思いっきり解放し、人一倍やかましい目の前の
男を一撃で殴り倒した。仕事ばかりの人生に文句一つ
なかったはずの男の意志に、静まり返る一同。
もし自分に決まらなかつたら、今から犯しに行く…。
誰が何をいわずとも、魔理沙の相手は周りに理解された。
会議は、夏祭りの仕事を割り当てると、静かに終わる。
祭りまでまだ一月とある、蒸し暑い日の事だった。

あとがき

どうも今回は魔理沙本をお買い上げありがとうございます。

FREEZE WORLD執筆者のjajaです。

今回は上海アリス幻楽団様の霧雨魔理沙を描いたのですが、

基本jajaは描きたくなくなったら描くので、

ふと魔理沙を描きたいなと思い今回に至りました。

(男らしいキャラの、女らしい部分を表現したかったんです)

今はまた通学痴漢車両3を再始動させたいと思っておりますが、

正直描きたいものは山のようにあるので未来の事はわかりません。

東方の他キャラや傾国水滸伝の続きもしたい。

しかし!…いかんせんjajaは一人で、

手は二本しかないというわけで。

才能皆無、体力絶無。モチベーションも浮き沈みが激しい。

次どんな作品をどれぐらいの期間で作って出すのか、わかりやしません、

待ってくださる方がいるなら光栄です。気長にお待ちください。

描き続ける事で上手くなり。素晴らしい絵や物語が生まれるんじゃないか。

日々そう思っています。

しかし、魔理沙は可愛いですね。長らく気づきませんでした。

実際幻想郷の里の男子の間では、どういう目で見られてるのか

気になりますねえ。…ひっひっひっひ!げあははははは!!!ひゃーっはっはっは!!!

